

単元名 見つけたあきであそぼう

配当時間 9時間

単元の目標 (1) いろいろな人々が公園を利用していることや、自然を利用したり遊ぶ物を作ったりすることの楽しさに気付くことができる。
 (2) 遊び方を工夫したり、自分が楽しんだ遊びや感じ取った自然の様子を考えたり、表現したりすることができる。
 (3) 四季の移り変わりに関心を持ち、自然や人々と関わりながら季節に応じた遊びを楽しもうとする。

標準的な展開例

01060205_001

【準備等】記録カード、これまでに収集した秋の自然物、きり、爪楊枝、ドングリ穴開け機、ボンド、グルーガン、毛糸、段ボール、竹串、プラスチックカップ 等

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 どんな遊びができるか考えたり、遊んだりして学習の見通しをもつ。 ★みんなでドングリごまを作ろう ○ドングリごまを作る。 ・道具の使い方や注意点を知る。 ・手順を確認し、製作する。</p> <p>○こま回しを通して、よく回る工夫を考え、伝え合う。 ・ドングリの大きさは関係あるのかな。丸いドングリと細長いドングリで比べよう。 ・爪楊枝が長い方と短い方、どちらがよく回るか比べてみよう。</p> <p>2～4 秋の自然物や身の回りの物を使っておもちゃを作って遊ぶ。 ★秋の宝物でおもちゃを作ろう ○どんな遊びができるか考える。 ・いろいろな種類のドングリがあるね。 ・オナモミで的当てができないかな。</p> <p>○材料を見て、作りたいおもちゃを決める。</p> <p>○おもちゃづくりの注意点や約束を確認する。 ○秋の自然物や身の回りの物でおもちゃを作る。</p> <p>○作ったおもちゃで試し遊びをしたり改良したりする。 ・けん玉の糸をもう少し長くするのはどうかな。 ・的当ては、得点表を作ったらどうかな。</p> <p>5～6 友達と関わり合いながら、自分が作ったおもちゃを改良したり、遊び方を工夫したりしながら遊ぶ。 ★もっと楽しく遊べる方法を見付けよう ○グループごとに、自分が作ったおもちゃの遊び方を考える。</p> <p>○ルールを伝え合いながら遊ぶ。</p> <p>○必要に応じておもちゃを改良したり、ルールを再考したりする。 ・的当ては、遠くから投げたら10点、近くから投げたら1点にしたらどうかな。</p>	<p>・教科書P. 64～65を見て、秋の自然物を使って楽しくおもちゃづくりをしていることを想像させ、めあてを提示する。 ・4～5人のグループを作り、活動させる。</p> <p>・本時はみんなで同じ物を作り、分からないときや上手いかないときは児童同士でアドバイスし合うことを学ばせ、今後のおもちゃ作りに生かせるようにする。 ・教科書P. 66～67「ものしりのうと」で作り方を確認し、「どうぐのつかいかた」で使い方を知らせる。 ・上手いかないときには児童同士で相談し合ったり、何度も試して考えたりすることを促す。 【評】おもちゃづくりを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・児童が集めた自然物だけでなく、様々な秋の自然物や身の回りの物を用意しておき、自由に使えるよう種類別に分けて置いておくことよい。 ・自然物の性質や特徴をつぶやいている児童を取り上げ、全体に広げる。 ・教科書P. 66～67を参考にしてもよい。 ・児童からアイデアを引き出し、同じおもちゃや似ているおもちゃを選んだ児童でグループを作る。1グループ4～5人にする。</p> <p>・同じグループの児童に自由に相談したり試しに遊んだりしてもよいことにする。 ・大きなおもちゃは共同で作ってもよいことにする。 【評】おもちゃ作りを通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・前時と同様に、グループ隊形になって活動を進める。 ・グループ内で、それぞれのおもちゃで遊び方を比べさせる。 ・互いのおもちゃの共通点や相違点に着目して自分のおもちゃを改良する視点がもてるようにする。 ・同じグループの友達と遊びながら、おもちゃを改良したり遊び方を変えたりするような声掛けをし、工夫を促す。 ・おもちゃの装飾を改良するのではなく、ルールなどの遊び方を決めさせる。 ・数を競って記録を残したり、ルールを決めて遊んだりすると、遊びが広がったり発展したりして楽しさが増すことに気付かせる。</p>

7～9 作ったおもちゃを使って全員で遊び、これまでの活動を振り返って気付いたことを伝え合う。

★みんなで遊ぼう

○作ったおもちゃを紹介する。

○作ったおもちゃで楽しく遊ぶ。

○これまでの活動を振り返り、気付いたことを記録カードにかく。

・ドングリごまを作りました。棒を短くしたら、長く回るこまができました。土俵を作ったらもっと楽しく遊ぶことができました。

・マツボックリのけん玉は、なかなか入らないので紐の長さを変えて何度も作り直しました。

○友達のおもちゃで遊んだ感想を伝え合う。

・〇〇さんのけん玉の形がおもしろかったです。

・〇〇さんの「どんぐりころころ」は、一度にたくさんのドングリを転がせるところがいいなと思いました。

【評】 みんながもっと楽しく遊べるように、おもちゃを改良したり遊び方を工夫したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

・地域の実態に応じて、年長児を招待する活動にしてもよい。

・遊ぶ人を前後半に分け、交代でグループを回り、遊べるようにする。

・遊んでいる最中にも、遊びがより楽しくなるようにルールを変更してもよいことを伝える

・単元全体の活動を振り返らせる。

・おもちゃや遊び方を工夫して上手くいった経験とその時の気持ちを表現させる。

【評】 気付いたことを伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

・遊んだ感想を付箋に書いて渡すなど、おもちゃを作った友達に感想を伝える手立てを考えるとよい。

【評】 おもちゃ作り全体を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】